

業績／主要な経営指標等の推移

JIMOTO HOLDINGS

経済環境

平成26年3月期における国内経済は、各種経済対策や金融政策などの効果により円安・株高が進み、企業収益や個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復の動きとなりました。先行きは、海外景気の下振れや消費税率の引上げによる影響が懸念される一方で、輸出の持ち直しや各種政策の効果によりさらなる景気の回復が期待されます。

当社グループの営業エリアである宮城県経済は、個人消費など一部に弱い動きがみられたものの、震災復旧に伴う公共工事や住宅工事などが高水準で推移し、総じて緩やかな回復傾向となりました。また、山形県経済は、雇用情勢が力強く改善する中、個人消費、住宅建設が前年を上回る水準で推移しており、景気は着実に持ち直しつつあります。

じもとホールディングス

業績

当社は、銀行子会社である株式会社きらやか銀行（以下、「きらやか銀行」という。）及び株式会社仙台銀行（以下、「仙台銀行」という。）とともに「じもとグループ」として、宮城と山形の「人・情報・産業」をつなぎ、お客さまに喜ばれ、信頼され、「じもと」とともに進化・発展する新たな金融グループを目指して震災復興支援をはじめとした各種施策に取り組んでおります。また、平成25年4月より、地元中小企業者への「本業支援」をグループの中長期的な経営戦略として掲げ、経営者の経営課題を徹底的に聴き、事業発展に向けた様々なニーズや課題等を解決すべく、グループ役員が一丸となって、人材育成や組織づくり、お客様への訪問活動を展開しております。

当連結会計年度における当社グループの経常収益は、資金運用収益及び役員取引等収益の拡大に努めた結果、前連結会計年度比77億10百万円増加の415億48百万円となりました。経常費用は、前連結会計年度比36億32百万円増加の354億34百万円となりました。その結果、経常利益は前連結会計年度比40億78百万

円増加の61億14百万円、当期純利益は前連結会計年度比27億11百万円増加の46億61百万円となりました。

なお、前連結会計年度の経営成績は、平成24年10月の当社設立において、企業結合会計上の取得企業をきらやか銀行としたため、きらやか銀行の前連結会計年度の経営成績を基礎に、仙台銀行の平成24年10月1日から平成25年3月31日までの経営成績を連結したものとっております。

主な勘定残高につきましては、貸出金残高は、住宅ローン貸出の増加などから前連結会計年度末比294億10百万円増加の1兆5,219億45百万円となりました。預金残高（譲渡性預金含む）は、個人預金・法人預金・公金預金ともに増加となったことから前連結会計年度末比703億97百万円増加の2兆2,712億4百万円となりました。有価証券残高は、預金残高増加に伴い債券を中心に運用を増加したことなどから前連結会計年度末比427億71百万円増加の7,301億53百万円となりました。

主要な経営指標等の推移（連結）

（単位：百万円）

決算年月	平成25年3月期	平成26年3月期
連結経常収益	33,838	41,548
連結経常利益	2,036	6,114
連結当期純利益	1,950	4,661
連結包括利益	7,533	3,720
連結純資産額	103,651	105,206
連結総資産額	2,349,214	2,445,089
1株当たり純資産額	236.54 円	244.50 円
1株当たり当期純利益金額	10.33 円	23.91 円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	3.92 円	10.09 円
自己資本比率	4.36 %	4.25 %
連結自己資本比率（国内基準）	10.67 %	10.41 %
連結自己資本利益率	1.90 %	4.51 %
連結株価収益率	22.94 倍	9.07 倍
営業活動によるキャッシュ・フロー	65,971	82,801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 80,821	△ 48,369
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,644	△ 1,008
現金及び現金同等物の期末残高	112,800	146,224
従業員数 （外、平均臨時従業員数）	1,736 人 (616 人)	1,738 人 (635 人)

(注) 1. 当社及び連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
 2. 当社は、平成24年10月1日設立のため、平成24年3月期以前の経営指標などについては記載していません。
 3. 当社は、平成24年10月1日付で株式会社きらやか銀行（以下、「きらやか銀行」という。）と株式会社仙台銀行（以下、「仙台銀行」という。）の経営統合にともない、両行の共同持株会社として設立されました。設立に際し、きらやか銀行を取得企業として企業結合会計を行っているため、前連結会計年度（自平成24年4月1日 至平成25年3月31日）の連結経営成績は、取得企業であるきらやか銀行の前連結会計年度の連結経営成績を基礎に、仙台銀行の平成24年10月1日から平成25年3月31日までの連結経営成績を連結したものといたします。
 4. 「1株当たり純資産額」、「1株当たり当期純利益金額」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額」（以下、「1株当たり情報」という。）の算定に当たっては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号）を適用しております。
 また、これら1株当たり情報の算定上の基礎は、34ページの「1株当たり情報」に記載しております。
 5. 自己資本比率は、（期末純資産の部合計－期末少数株主持分）を期末資産の部の合計で除して算出しております。
 6. 連結自己資本比率は、銀行法第52条の25の規定に基づく平成18年金融庁告示第20号に定められた算式に基づき算出しております。当社は国内基準を採用しております。